

授業科目 英語 II

【担当教員名】 戸出 朋子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		◎

【概要・一般目標：G10】  
QOL をテーマに実際に英語を使う経験を通し、現段階の英語の力（主に語彙力、文法力）を伸張させる

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. QOL 関連の内容が書かれた文章の概要を、辞書を参照しながら、自分の言葉で述べるができる
  2. QOL 関連の内容について、まとまりのある英語を聞き、重要なポイントのメモをとることができる
  3. QOL 関連の内容について、口頭で、簡単な英語を使って他者に内容を伝えることができる
  4. QOL 関連の事柄を、辞書参照や他のストラテジーを駆使しながら、英語の基本語順で書くことができる
  5. 4. で書いた英文を振り返り、より正確で複雑な英文に改訂することができる

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	2	講義、演習
2	専門家による介護とは何かについて説明する（準備）	12	講義、演習
3	専門家による介護とは何かについて説明する（読解）	1	講義、演習
4	専門家による介護とは何かについて説明する（原稿下書き）	34	講義、演習
5	専門家による介護とは何かについて説明する（改訂）	5	講義、演習
6	専門家による介護とは何かについて説明する（面接）	3	演習
7	介護におけるコミュニケーションについてプレゼンテーションする（準備）	12	講義、演習
8	介護におけるコミュニケーションについてプレゼンテーションする（読解）	1	講義、演習
9	介護におけるコミュニケーションについてプレゼンテーションする（原稿下書き）	34	演習
10	介護におけるコミュニケーションについてプレゼンテーションする（改訂）	5	講義、演習
11	介護におけるコミュニケーションについてプレゼンテーションする（発表）	3	講義、演習
12	介護現場におけるレクリエーションの目的と方法について講義する（準備）	12	演習
13	介護現場におけるレクリエーションの目的と方法について講義する（原稿下書き）	34	講義、演習
14	介護現場におけるレクリエーションの目的と方法について講義する（改訂）	5	演習
15	介護現場におけるレクリエーションの目的と方法について講義する（発表）	3	発表

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	授業中に配布するプリント			

【評価方法】 小テスト 口答試験 提出物 出席	【履修上の留意点】 英和辞典は必ず持参すること。 配布教材が多いので、ファイルに保管すること
-------------------------------------	--